

2008年  
第19号

# おおはし

—岡山と留学生—

Okayama Regional Conference for Promotion of Student Exchange  
岡山県留学生交流推進協議会



岡山城

# 倉敷美観地区

(くらしきびかんちく)

年間数百万人もの観光客が訪れる、県内随一の観光名所。白壁に川辺の柳が映える一帯には、大原美術館をはじめ数々の文化スポットが点在しています。



# 目次

- 巻頭言 ..... 2  
津山工業高等専門学校 稲葉 英男 校長
- 平成 19 年度総会等の開催について ..... 3  
平成 19 年度総会 第 33 回運営委員会
- 岡山県内に学ぶ外国人留学生の声 ..... 4
  - 「留学生として初めてのチャレンジ」  
岡山大学 ジェニス アンナ マリア (ポーランド)
  - 「貴重な留学生活」  
岡山大学 ドゥイグ カラバー (トルコ)
  - 「留学の思い出」  
岡山大学 トマス ムブォティテム ジェリマヤ (ナイジェリア)
  - 「再び始まった留学生活」  
岡山商科大学 金 美秀 (韓国)
  - 「岡山に暮らして」  
倉敷芸術科学大学 張 俊強 (中国)
  - 「日本留学は私の変身」  
吉備国際大学 金 学載 (韓国)
- 地域と国際交流 ..... 7  
赤磐市国際交流協会
- 協議会構成機関・団体からのお知らせ ..... 8  
岡山県国際交流協会
- 入国管理局便り ..... 9  
広島入国管理局岡山出張所
- 資料 ..... 11
  - 岡山県内外国人留学生受入れ状況 (平成 20 年 5 月 1 日現在)
  - 岡山県内外国人留学生支援事業等実施状況調査
    - ① 構成機関・団体が実施した経済的支援事業
    - ② 構成機関・団体が実施した交流事業
  - 在留資格に伴う必要書類一覧表 (広島入国管理局資料)
- 岡山県留学生交流推進協議会構成員名簿 ..... 24
- 岡山県留学生交流推進協議会運営委員会名簿 ..... 24



# おおはし

— 岡山と留学生 —

# 吉備津神社

(きびつじんじゃ)

豪壮優美な比翼入母屋造りが映える神社建築の傑作で本殿と拝殿はともに国宝になっている。本殿から南の本宮社や御釜殿を繋ぐ、総延長約 400 m の回廊も壮観。土地の傾斜に沿って、屋根も流れるような勾配を描いています。御釜殿では、釜の鳴る音で吉凶を占う「鳴釜神事」が行われています。この様子は江戸時代の国学者上田秋成の「雨月物語」にも「吉備津の釜」として登場します。



# 岡山後楽園

(おかやまこうらくえん)

1700年(元禄3年)に岡山藩主・池田綱政公の命によって完成。日本三名園の一つで、国の特別名勝に指定されています。優美な回遊式庭園で、園内に植えられた四季の花々が、季節ごとに美しい表情を見せてくれます。



# 西大寺会陽

(さいだいじえよう)

毎年 2月、水も凍る極寒の時期に行なわれる日本三大奇祭のひとつ。永正年間(1504年～ 1521年)、この寺で配られる護符で、素晴らしいご利益を得られるという評判が立ち、多くの人が詰め寄せた。その人々に護符を投げ与えたことがきっかけで、護符はやがて「真木」と変わり、この真木をめぐる禪姿の男たちがぶつかりあう裸祭りへと変遷を辿った。現在はこの真木は「宝木」と書き、見事これを手にした者は、その年の福男とされ、無病息災が約束されるのである。数千人の男たちの熱気と身体から立ち上る湯気は、見る者を圧巻し、県内外から多くの観光客が押し寄せる。



# 留学生30万人計画と地域の活性化

津山工業高等専門学校  
校長

稲葉 英 男



本年7月に文部科学省ほか6省庁共同で「留学生30万人計画」の骨子が発表された。

近年における経済の急速なグローバル化、少子高齢化の進行、知識集約型産業の展開等に伴う我が国の国際競争力低下に対する解決手段として、2020年を目途に、優秀な留学生を30万人獲得して、我が国の教育・研究機関や産業界の国際的競争力の向上を目指すものである。具体的には、日本留学への関心を呼び起こす動機づけや情報提供から、入試・入学・入国の入り口の改善、大学等の教育機関や社会における受入れ体制の整備、卒業・修了後の就職支援等に至る幅広い留学生の獲得施策を、関係省庁において政府の掲げる「グローバル戦略」の一環として、強力に推進する計画である。1983年に「留学生10万人計画」が実施され、約20年後の2004年に目標が達成され、この間、留学生を受け入れる下地やノウハウ等が、教育機関、産業界や行政機関も蓄積されたように思われる。留学生30万人という数は、過去の趨勢線からの予測や世界の留学生数の増加傾向や、特に我が国の大学数(約760校)の多さ(因みに、イギリスの約100校、オーストラリアの約40校)から判断して不可能な数ではないと言われている。

留学生30万人計画の実現には、学生募集に苦勞している地方大学等の教育機関が、留学生に対して魅力ある質の高い教育内容(国際スタンダードに合わせる)を整備した上で、各教育機関がどの程度の留学生を獲得できるか、さらに、2007年度我が国で就職した外国人留学生は、初めて1万人を超えており、卒業した優秀な留学生を地域産業の活性化にどの程度活用できるかが、大きなポイントになると思われる。優秀な留学生が地元に残り、地域産業等の活性化に寄与できるように、地域の産学官が留学生の募集から就職まで、連携して行えるシステム構築とその推進が重要である。やる気のある優秀な留学生の卒業後の我が国で活躍した事例の広報、すなわち、留学生による活躍の経済的効果の試算やその貢献に対するプロモーション活動が必要に思える。我が国へ留学後就職希望者に対する我が国での成功する具体的なモデルの提示も大切である。

中国に「留米親米、留日反日」という言葉があり、アメリカに留学すると多くはアメリカが好きになる。一方、日本に興味を持って我が国に留学後、日本が嫌いになって帰国する留学生がいるという意味であり、留学生を迎えるにあたり留意すべきことと思われる。

我が国においても、留学生に関する各種の研究や事業も以前より進んでいるが、留学生30万人計画が具体的な海図無き船出とならないようにしたいものである。

# 平成19年度総会等の開催について

## 1 平成19年度総会

平成19年度総会は、平成20年2月7日(木)に岡山大学本部棟第一会議室において開催され、23構成機関の代表者が出席された。

総会は、推進協議会長千葉喬三岡山大学長の挨拶に始まり、文部科学省高等教育局学生支援課から国の留学生施策について説明のあと、平成19年11月1日現在で実施した岡山県内外国人留学生の受入れ状況及び外国人留学生に対する経済的支援、交流事業の実施状況等について報告があった。

続いて、「平成20年度岡山県留学生交流推進協議会の事業計画」及び「留学生の支援活動」について協議がなされた。協議の中では主に就職活動支援、アルバイト、留学生宿舍の不足・確保等について各機関から取り組み状況等の意見交換及び情報交換が行われた。

## 2 第33回運営委員会

第33回運営委員会は平成19年9月28日(金)岡山大学一般教育棟大会議室において田中宏二国際センター長を議長として開催された。始めに、委員の自己紹介があり、平成19年5月1日現在で実施した岡山県内外国人留学生の受入れ状況調査、外国人留学生支援事業調査等の報告があり、引き続き、奨学金、就職活動支援及び宿舍の確保等受入れ体制について意見交換が行われた。



# 岡山県内に学ぶ 外国人留学生の声

## 『留学生として初めてのチャレンジ』 ジェニス アンナ マリア / Dzienis Anna Maria (ポーランド)

岡山大学大学院 社会文化科学研究科研究生

私は今年4月、日本の留学生になりました。ポーランドでは、ワルシャワ大学の日本学科とワルシャワ経済大学を両方卒業したので、その2つの専門を活かせる日本経済の専門家を目指しています。私にとって日本へ留学することは一番大切な夢でした。今年、日本の文部科学省のおかげで夢をかなえられて、本当に嬉しいです。

来日する前にワルシャワの日本学科で日本文化、歴史、日本人の生活様式について深い知識を得ました。ですが、私の知識は理論にしか基づいていなかったため、どこか不完全だと感じました。日本人と生活してみることが大切だと思ったからです。今、自分の目で日本を観察できて、日本に対して非常に深く理解ができる機会を与えられています。私は将来、ポーランドで日本文化を広めたいので、この経験は不可欠のものだと思います。

日本へ来る時、歴史に満ちていて、美しいところに住みたいと思っていたので昔、備前と言われていた岡山県を選びました。今までのワルシャワの生活から離れて、こんな遠い国へ来るのは初めての大きな挑戦でした。日本に到着してすぐ日本人のボランティア学生からとても厚い歓迎をしてもらい、岡山大学国際センターからも支えて頂いて、心配する時間が全然ありませんでした。そしてチューターとお話し会のおかげでさまざまな日本人の習慣や考え方について知ることができ、文化の違いなどについてより深く考えられるようになりました。本当にありがとうございます！

私は留学することを皆に勧めます。自分の国から離れて、他の社会で生活すると本当に自分が成長できると思います。そして、自分の文化と異なる文化に対して理解できるようになると思います。

これからも、日本の留学生として積まれた経験が私の一生の宝物になるように頑張ります。



## 『貴重な留学生活』

岡山大学 文学部 日本語・日本文化研修留学生  
ドゥイグ カラバー / Duygu Karabag  
(トルコ)

トルコのチャナッカレ・オンセキズ・マルト国大学日本語教育学科に所属しているドゥイグです。日本に来るのが2回目になりますが、今回私は留学って、お金や勉強として外国語がちゃんとできる人だけが可能だと思いましたが、大間違いでした。勇気と夢さえ持っているなら、だれでもできると思い始めました。色々の国から来た留学生たちの中で私のように思っている友達がたくさんいると思います。

私が日本に来てからもう9ヶ月が経ちました。その間、日本語の勉強だけでなく、国際理解および異文化理解もできてよかったです。学校、飲食、友達との交流中、すべてが勉強のように思っています。そして、私は決して忘れられない数え切れない経験のおかげで、異文化交流のことで自国についてもっと知っておくべきだと気づきました。トルコについて色々なことについて聞かれる私は、はっきり言いますと、時々困るからです。

もちろん、大変な時や苦しい時も多かったけれど、そのときは、周りの友達や知り合いになった人たちにたくさん助けられました。

この留学で岡山をはじめ、日本のたくさんの美しいところを観光したりしました。日本文化をもっともっと知りたかった私は、岡山大学弓道部のメンバーになって、そこの先輩たちと仲良くなってきました。伝統的な物として弓道をしながら日本文化の特徴とかいろいろなことが分かるようになりました。それから、お琴の勉強をし始めて、お琴の音、あるいは歌のメロディーを楽しみながらこの美しい国のことを理解できるようになりました。私は日本でたくさんの人や友達に教えてもらったことを帰国したら、皆に伝えるようにしたいと思います。

これからも日本にしかできないことを楽しむようにしたいと思います。



## 『留学の思い出』

岡山大学 薬学部 1年  
トマス ムヴォティデム ジェリマヤ / Thomas Mbuotidem Jeremiah  
(ナイジェリア)



来日してから1年間半ぐらいが経ちました。去年の4月から東京外国語大学で日本語を勉強しました。そして今年の4月から岡山大学で楽しい大学生活が始まりました。この短い間を振り返ってみると美しい思い出ばかりです。私は日本に来る前に国で日本語を習っていませんでした。だから最初の一年間一所懸命に日本語を勉強しました。カタカナの暗記から漢字の暗記まで真面目に努力しました。大変であったけれども楽しい経験であって今は漢字とか書けるし、読めるようになりました。

今年の4月に岡山大学薬学部に入學して良かったです。習ってきた日本語を生かして日本人と交流できるようになりました。今から後4年間もあり、この間満足を達するまで岡山の綺麗な自然、桜、紅茶など楽しもうと思います。

さらに大学の前期に日本の民間薬、和漢薬などを勉強してきました。これは結構面白いであり、将来に和漢薬と民間薬に関する研究も続けたい気持ちがあります。これから4年間も日本特に岡山の文化、社会に関する事を勉強し、日本人と交流していきたいと思っています。

## 『再び始まった留学生活』

岡山商科大学 商学部 4年  
金 美秀  
(韓国)

私が最初に日本語を勉強したきっかけは高校時代、韓国に入ってきた日本の漫画やアニメが好きだったからでした。韓国と日本は近い国々の民族であり、10年前前から文化開放と国際交流が盛り上がり大学に入ってからアニメだけではなく日本の全般的な文化に興味を持つことになりました。

韓国ではWEBサイトで日本の漫画を翻訳したり、逆に韓国の漫画を紹介したりして少しずつ日本語の勉強を進めました。その後、忠清大学日本語通訳科に入ってから半年ごろ、岡山商科大学への交換留学生の機会を得て、後期の間岡山での最初の留学生活が始まりました。

初めての留学でしたがそのまえから日本語をわかっていて少しは自信に満ちていたかもしれません。しかし会話というものは教科書で学んだものとは確かにレベルの難しさを切実に感じました。時々喋れなかったり、漢字の未熟など、わからないことだらけで大変でしたが学校の友達と在日の先生がいろいろサポートしてくれたおかげで、楽しい留学生活になりました。そして半年ぐらいと言っても一番弱点の聞き取りや会話にとってすごく役に立った留学でした。韓国に戻って卒業準備生になった私は、もう一度岡山商科大学で勉強してみたいと思いました。日本語を勉強する段階に留まらず、自分の好ましい専攻に分野に深く研究してマーケティングのプロになるため、岡山への留学を決めました。2008年3月来日しました。楽しかった前期が終わって現在はカラーコーディネーター3級資格を目指して勉強していると共にファミリーレストランで働きながら夏休みを過ごしています。

また、以前岡山にいた時よりもっと色々国際交流をしてみたいと思って国際交流センターで韓国語授業のボランティアもしています。後は、学業も勿論、様々な国際コミュニケーションができる人になりたいです。



## 「岡山に暮らして」

倉敷芸術科学大学大学院 人間文化研究科 2年

張 俊強

(中国)

来日して6年目になります。倉敷芸術科学大学を卒業して大学院に進学し、現在2年生です。

岡山に来て1年目の冬、真冬には-20℃にもなる故郷（内モンゴル）に比べ、なんと暖かい冬だろうと思いました。以来、5度目の冬が過ぎ6度目の夏を過ごしています。温暖で、緑も多く、果物もおいしいこの岡山で、いろいろな人にも出会いました。私が岡山で出会った方々は皆さん親切で温かい人ばかりでした。中でもボランティアで日本語を教えてくださいました方たちの親切で熱心なご指導には心から感謝しています。

思えば、6年前、携帯電話が鳴っても、中国人の友人以外の番号には、日本語で話しかけられることが怖くて、出られませんでした。今は、お陰さまで日本語能力試験一級に合格でき、もちろん、電話も怖くなくなりました。

留学生活でもう1つ印象深かったことがあります。それは日本の方の細かい気配りです。例えば、日本の方には、当たり前のことかもしれませんが、週に2度利用させて頂くごみ置き場は毎回きちんと掃除され、常に清潔です。毎回の掃除は面倒なことだと思います。でもちょっと面倒でも、少しずつ皆が気をつけ、力を出し合って日々を気持ちよく過ごすことの大切さを感じました。

私は、岡山が大好きになりました。いろいろな経験をし、たくさんの思い出ができたこの岡山で、できるなら、県内に就職し長く暮らし続けたいと思っています。



## 『日本留学は私の変身』

吉備国際大学大学院 文化財保存修復学研究科 1年

金 学載

(韓国)



「文化財修復」は、絵画などの罅<sup>ひび</sup>や絵具の欠損部に上手く描いて修理し、その跡が全く分からないようにする作業だと思われる。昔はその通りであったが、今の修復は作品に跡が残っても最小限の修理で作業が終わる場合が通常だ。作品を綺麗にすることより、現存維持でオリジナル保存が優先される考え方がその理由だ。人の価値観は時代によって変わる。同じ仕事でもその方法はどんどん変わっていく。今日も私は痛んでいる作品と向き合って最も理想的な修復の倫理や技法を学んでいる。

人の生き方も同じ。昔のままの変化のない自分は駄目だと思う。

海外留学の魅力は、より多様な人や社会習慣との出会いはないかと思う。しかし、トラブルは自国よりも多いのが事実だ。「ここは日本だから仕方がない」とか「それは日本人だから」と思ってしまうとせっかくの留学の意味がなくなる。世の中にはすべて訳がある。その訳を理解し、自分の中に取り入れることが人生の課題ではないか。今はわからない場合もあるが、自分を磨けば10年、20年後は理解できるはずだ。明日、また変わる自分のため、日本と素敵な出会いを楽しもう。

# 地域と国際交流

## 赤磐市国際交流協会

赤磐市は、平成17年3月、当時の山陽町、赤坂町、熊山町、吉井町が合併して誕生しました。豊かな自然に恵まれ、白桃、マスカット、朝日米、これ里ワインなど、県内有数の様々な特産品があります。

赤磐市では、国際交流事業として、年に2回、岡山大学への留学生と、赤磐市内の小学生との交流プログラムを行っています。昨年度は、様々な国の、計39名の留学生が、赤磐市内の4つの小学校を訪れ、合奏、演奏、日本の昔ながらの遊びやゲームなどで交流を行いました。特に、質問コーナーでは、生徒達から次々に質問が飛び出し、留学生の皆さんも、自分や出身国のことを知ってもらおうと、引率の先生方の助けを借りながら、一つ一つの質問に丁寧に答えていました。小学校での交流の後は、赤磐市役所に隣接する山陽郷土資料館で、赤磐市の歴史や文化の学習を行いました。学芸員の説明を聞きながら、歴史年表や、様々な出土物を見学しました。ボランティアの方の通訳もあり、留学生の皆さんから笑い声が起るなど、和やかに

進行し、赤磐市への興味を深めてもらいました。

また、赤磐市は、民間団体の赤磐市国際交流協会へ、事務局として支援を行っています。赤磐市国際交流協会は、外国人の方々とふれあい、相互理解を進めるために、有志の市民の皆さんが集まり、様々な国際交流活動を行っています。外国人の方を講師として呼びし、一般の参加者の皆さんと一緒に、その国の郷土料理を作って会食をしたり、講演会をしていただいたりすることもあります。また、毎年秋に、赤磐市が主催する、赤磐市ふるさと祭りが開催されますが、その祭りに、外国人の皆さんによる屋台村を出展しています。毎年、4か国程の外国人のご家族や留学生に参加してもらい、各国の珍しい料理を訪れた方々にふるまいます。この屋台村は毎年盛況で、どの国の料理も完売します。今年の11月3日に開催された祭りでも、どの国の料理も完売しました。来年秋にも開催予定ですので、是非赤磐市まで足を運んでみてください。

赤磐市企画財政部企画課  
主事補 赤澤 宏和

### 活動を振り返って



▲留学生の皆さんと市内の小学生との交流の様子。生徒たちは競い合うように手を挙げ、好きなスポーツや料理などの質問をしていた。

▼赤磐市ふるさと祭りにて、屋台村には多くの人々が訪れ、各国の料理を楽しんでいた。中央は荒嶋龍一赤磐市長、江田五月衆議院議長。



# 財団法人岡山県国際交流協会の業務について

財団法人岡山県国際交流協会は、平成3年3月、岡山県、市町村、経済界等が協力して設立した公益法人で、岡山県で唯一の「地域国際化協会」として国から認定されている団体です。当協会では、地域の国際化推進の中核組織として各種事業を実施していますが、ここでは、外国人を支援する事業を中心に紹介します。留学生の方に安心してご利用いただけます。

## 1. 多言語相談事業

外国人の方の一般生活相談に応じています。困ったことがあれば相談してください。(無料)

▶中国語 毎月 第1、第3 土曜日、 第2、第4 水曜日

▶ポルトガル語 いずれも 13:00～17:00

▶タガログ語 / 毎月 第3木曜日 10:00～14:00

相談員は、中国、ブラジル、フィリピンの出身者です。

予約・問合せ：企画情報課 情報班 TEL：086-256-2914 FAX：086-256-2489

相談専用電話 086-256-2913(相談日時のみ各言語で対応)

## 2. 医療通訳ボランティアの派遣

当協会の医療通訳ボランティアが、病院等で医療関係者と外国人患者とのコミュニケーションをサポートします。(無料)

外国人患者又は医療機関からの申請を受けて、医療通訳ボランティアを派遣します。

対象言語：英語、中国語 問合せ：企画情報課 情報班 TEL：086-256-2914

## 3. 外国人のための法律相談

外国人の法的な相談に弁護士が対応します。(無料)

日時：平成20年5月～平成21年3月(毎月第3土曜日10:00～、11:00～、12:00～)

英語、中国語の通訳がつかます。(他の言語はご相談ください)前日までに要予約

予約・問合せ：企画情報課 情報班 TEL：086-256-2914 FAX：086-256-2489

## 4. 日本語講座 毎週5日間日本語講座を開催しています。

いつでも受け付けています。(ただし定員に達している場合を除く)

開催日時

火曜日(10:00～11:40、18:30～20:10)、水曜日(10:00～11:40、18:30～20:10)

木曜日(10:00～11:40)、金曜日(10:00～11:40)、土曜日(15:10～16:40)

定員：各回 40名 レベル：各回 入門～上級 受講料：1回 200円

## 5. 岡山における留学生と企業とのマッチング事業

平成17年度から、岡山での就職を希望する留学生が地元企業の採用担当者前でスピーチを行い、自己PRする機会を提供しています。これまで多くの留学生がこの事業を通して就職しました。



▲岡山における留学生と企業とのマッチング事業

## 6. 岡山フェアウェルパーティー

留学生等の卒業・修了にあたり、岡山での最後の思い出作りを行ってもらい、今後の活躍を祈るとともに、県民との交流を目的に送別会を開催しています。



▲岡山フェアウェルパーティー

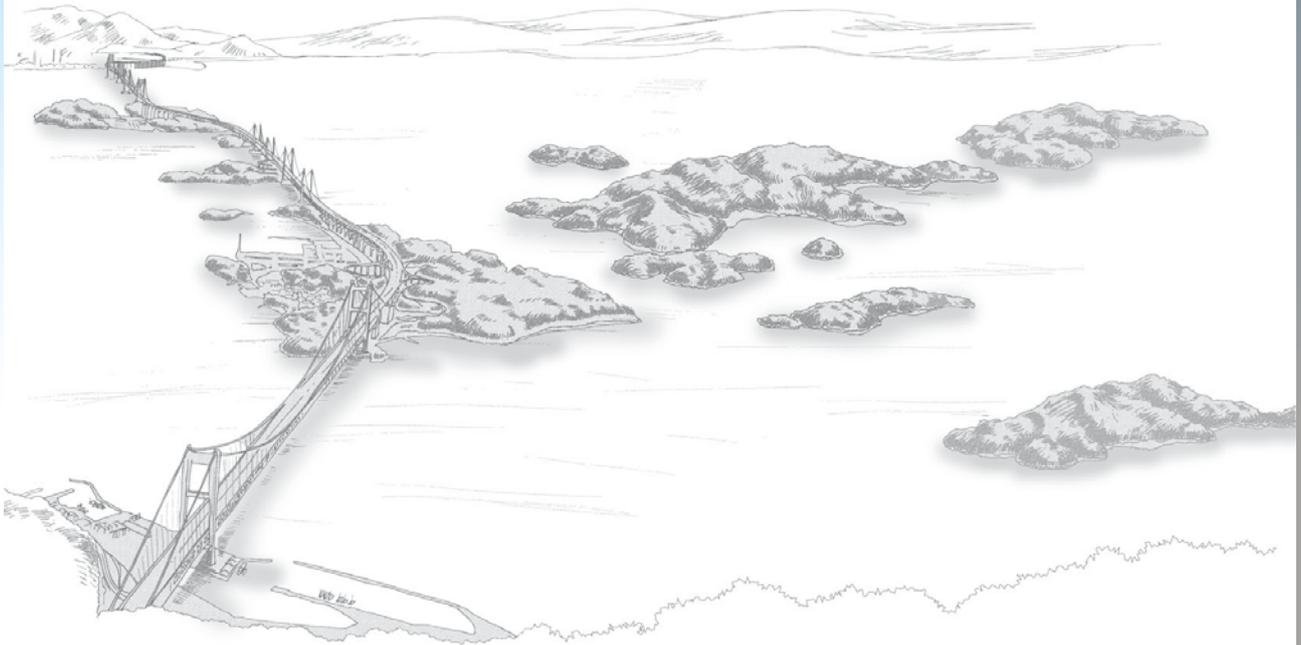


財団法人岡山県国際交流協会

〒700-0026 岡山市奉還町2-2-1

岡山国際交流センター内

# 入国管理局便り



留学生の皆さん、こんにちは。広島入国管理局岡山出張所の概況について説明させていただきます。

岡山出張所は、JR 岡山駅東口から徒歩 5 分の交通至便な「岡山第二合同庁舎」の 11 階にあります。

岡山出張所では、岡山県内に在留する外国人の方々の在留審査、岡山空港から出入（帰）国する方々の出入国審査及び県内の海港の出入国審査を職員 11 人で行っています。

在留審査の件数は、昨年 1 年間で約 1 万 2 千件となっており、在留外国人の増加に伴い年々増加傾向にあります。中でも留学生の皆さん方の在留手続きに係る割合が高くなっております。次頁に主な手続の種類を記載しましたが、これ以外にも、新しい旅券の発給を受けて古い旅券に貼付又は押印された許可証を新しい旅券に移す「証印転記」などがあります。

皆さん方において、入管に関する手続きについてのご質問等がありましたら、お気軽に電話か直接当出張所までお越しください。